

## 5 耐病性品種の利用・栽培管理によるレタスビッグベイン病の発病抑制

### ねらいと成果

レタスビッグベイン病に対する耕種的な防除法を確立するため、耐病性品種を国内外から集め、病害に対する耐病性の強度や実用形質などの特性を明らかにした。また、オルピディウム菌の生態的特性を利用して栽培管理による防除法について検討した。

その結果、耐病性品種では、ベイビュウ他7品種は、発病株率10%未満、結球重500g以上と耐病性・肥大性が優れ、強度の汚染圃場に適した。99LE10、ロジックは、中程度の耐病性ではあるが品質面で優れ、汚染程度の軽い圃場に適した。栽培管理では、高畝栽培による排水改善や土壌pHを下げることににより発病が抑えられた。

### 内容

- 耐病性品種の発病程度については、1月18日の結球中期では、慣行品種のサントス2号およびシスコの発病株率はそれぞれ82.5%、84.2%と高い値を示し、トンプソン、ベイビュウ、キャネリーロ、スプレッケルス、BV-1、BV-6、BV-8、LE2101は、発病株率が10%未満となり優れた耐病性を示し、強度の汚染圃場に適した(表)。
- 収量については、上記の品種は、ほぼ結球重が

500g以上、2L球の比率が30%以上と肥大性が優れた。しかし、これらの品種は、トンプソンを除いて球の高/径比率が0.9以上と立ち上がり気味の旺盛な生育を示し、秀品率が20%未満と低くなった。トンプソンは、葉縁に細かい切れこみができ、慣行品種のサントス2号と形質が異なる。99LE10は、上記の品種に比べ生育が緩やかで、球の形状が安定し秀品率が50%以上と高かった。また、ロジックも秀品率が27%と高く、汚染程度の軽い圃場に適した。

- 栽培管理による防除法については、畝の高さを慣行の20cmから30cmに高くして排水を改善したり、ピートモスを13ℓ/㎡施用して土壌のpHを7.0から5.8に下げることにより、発病株率を低下させることができた。特に、ピートモスの施用はレタスの球の肥大が優れ、ボリュームアップが図れる(図)。

### 普及上の注意事項

- 耐病性の強い品種は、生育が旺盛になりやすい傾向があるため施肥量を2~3割程度減らす。
- 高畝栽培では、乾燥を防ぎ球の肥大を促進するため生育後半の灌水が必要となる。

小林 尚司(淡路農技・農業部)

表 レタスビッグベイン病耐病性品種の特性

| No. | 品種・系統名  | 発病株率(%) |       | 球重<br>g/株 | 球の<br>高/径 % | 秀品規格(%) |       |
|-----|---------|---------|-------|-----------|-------------|---------|-------|
|     |         | 12月19日  | 1月18日 |           |             | 2L      | L     |
| 1   | サントス2号  | 25.4    | 82.5  | 441       | 0.84        | 42      | 2 15  |
| 2   | シスコ     | 45.6    | 84.2  | 441       | 0.81        | 44      | 0 31  |
| 3   | アントレー   | 11.7    | 51.7  | 515       | 0.92        | 31      | 0 48  |
| 4   | ロジック    | 11.7    | 44.1  | 508       | 0.92        | 27      | 4 57  |
| 5   | シーグリーン  | 13.3    | 55.0  | 533       | 0.86        | 20      | 13 61 |
| 6   | トンプソン   | 1.7     | 8.3   | 577       | 0.84        | 11      | 42 49 |
| 7   | ベイビュウ   | 0.0     | 1.7   | 526       | 0.92        | 8       | 39 57 |
| 8   | キャネリーロ  | 0.0     | 5.3   | 558       | 0.92        | 2       | 32 64 |
| 9   | スプレッケルス | 0.0     | 1.7   | 530       | 0.93        | 2       | 47 47 |
| 10  | ワリアー    | 18.3    | 78.9  | 460       | 0.81        | 27      | 13 63 |
| 11  | パトリオット  | 20.0    | 75.0  | 491       | 0.80        | 40      | 20 38 |
| 12  | BV-1    | 0.0     | 3.4   | 552       | 0.98        | 10      | 33 54 |
| 13  | BV-2    | 0.0     | 10.0  | 543       | 0.94        | 17      | 26 53 |
| 14  | BV-6    | 0.0     | 5.2   | 521       | 0.98        | 7       | 33 51 |
| 15  | BV-8    | 1.7     | 5.0   | 558       | 0.95        | 4       | 44 44 |
| 16  | LE-2232 | 18.3    | 81.7  | 492       | 0.86        | 25      | 8 55  |
| 17  | LE-2101 | 0.0     | 3.3   | 510       | 0.95        | 7       | 9 73  |
| 18  | 99LE10  | 0.0     | 38.3  | 497       | 0.81        | 52      | 19 69 |
| 19  | 01LE31  | 1.7     | 10.2  | 514       | 0.82        | 36      | 38 58 |

注) 播種: 2001年10月1日、定植: 11月1日

収穫時期: 2002年2月13~21日

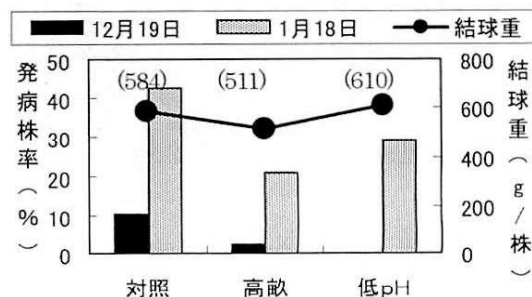


図 高畝・低pH管理が発病株率・結球重に及ぼす影響

( )内は、結球重